

## 総務委員会会議録要旨

|                  |                          |                       |              |
|------------------|--------------------------|-----------------------|--------------|
| 開会日              | 平成29年6月23日（金）午前10時00分    |                       |              |
| 閉会日              | 平成29年6月23日（金）午前11時59分    |                       |              |
| 場 所              | 長久手市役所西庁舎 第7・第8会議室       |                       |              |
| 出席委員             | 委員長                      | さとうゆみ                 |              |
|                  | 副委員長                     | 山田けんたろう               |              |
|                  | 委 員                      | 上田 大 岡崎つよし 加藤和男 吉田ひでき |              |
| 欠席委員             | な し                      |                       |              |
| 欠 員              | な し                      |                       |              |
| 会議事件のため出席した者の職氏名 | 市長                       | 吉田一平                  |              |
|                  | 市長公室長                    | 高嶋隆明                  | 同次長 水野 泰     |
|                  | 人事課長                     | 北川考志                  | 課長補佐 浅井紳一郎   |
|                  | 人事係長                     | 安部信一                  |              |
|                  | 総務部長                     | 青山 均                  | 次長兼財政課長 浦川 正 |
|                  | 行政課長                     | 飯島 淳                  | 課長補佐 児玉 剛    |
|                  | 財政課課長補佐（財政担当）            | 嵯峨 剛                  |              |
|                  | 市民課長                     | 斉場三枝                  |              |
|                  | 安心安全課長                   | 水野徳泰                  |              |
|                  | 福祉部次長（長寿、福祉、健康推進担当）兼長寿課長 | 中野智夫                  |              |
|                  | 介護保険係長                   | 青山祐司                  |              |
|                  | 消防長                      | 吉田弘美                  | 同次長 加藤龍寿     |
|                  | 総務課長                     | 出口史朗                  | 専門員 鈴木隆宏     |
|                  | 教育部次長                    | 川本晋司                  | 教育総務課長 山端剛史  |
|                  |                          |                       | 計 21人        |
| 職務のため出席した者の職氏名   | 委員外議員                    | 青山直道                  |              |
|                  | 議会事務局長                   | 福岡隆也                  | 主幹 貝沼圭子      |
| 会議録              | 別紙のとおり                   |                       |              |



別紙

委員長 開会宣言

委員長 本委員会の審査及び事務調査について助言するため、現総務常任委員の在任中に招集する委員会に委員外議員として青山直道議員の出席を求めたいが、異議あるか。

<異議なし>

委員長 異議なしと認めるので、委員外議員として青山直道議員の出席を求めることに決した。

市長 あいさつ

## 議案審査

### 議案第 31 号 平成 29 年度長久手市一般会計補正予算（第 1 号）

財政課長 議案第 31 号について説明

上田委員 歳出の老人福祉費 医療及び介護の総合的な確保事業の予算は、国の補助でスプリンクラーを設置するためのものである。今回はグループホーム「よろこんぶ」に設置するが、市内に設置しなければいけない施設はあるか。

長寿課長 特別養護老人ホーム、ショートステイ、グループホーム、有料老人ホーム等宿泊をする介護施設が対象になる。市内にはグループホームが 4 か所あるが 2 施設は設置済みで、今回、1 施設に設置する。残る 1 か所にも補助金の説明をしたが、賃貸物件のため事業者と所有者が相談したところ所有者が設置することにしたと返事があった。

上田委員 「よろこんぶ」のほかに希望する施設はなかったか。

長寿課長 未設置と把握している市内の施設には、情報提供している。希望があればすべてあげている。

吉田委員 宿泊できる施設で未設置は何か所あるか。

長寿課長 介護施設では住宅型有料老人ホーム 1 か所が未設置だが、現施設でなく移転継続の意向を確認している。県に届出義務のあるものは把握でき

るが、マンション等の空室を活用して高齢者が住み、介護サービスを利用するケースは把握できてない。

吉田委員 数の把握もできないのか。

長寿課長 有料老人ホームの定義になるが、介護付有料老人ホーム2施設、住宅型有料老人ホーム7施設は把握している。また、市に立入権限はないが、介護サービスの認定調査の際に利用実態を把握する。実態が有料老人ホームにあたる場合は、事業者と話す機会を設け実態把握に努めている。

吉田委員 消防との連携はどのようなか。

長寿課長 情報の共有、連携はしている。

岡崎委員 今回の補正予算とした理由は何か。

長寿課長 平成28年10月頃に補助メニューの通知があり、事業者にも周知し申請手続きをした。平成29年1月下旬に補助金の内示があったが、事業者から28年度内の工事完了は難しいと返事があり、29年度の補助として補正予算を計上した。

岡崎委員 補助金の算定基準額はどのようなか。

長寿課長 スプリンクラーの設置は平米単価9,260円、消火型ポンプユニット1基232万円で計算し406万円となる。

さとう委員 防災費 防災キャンプは、何月に、何人が参加し、どのような過ごし方をするのか。また、食糧費の計上があるが、朝食と夕食分か。

安心安全課長 地域の方に協力いただくので確定ではないが、10月下旬頃を予定したい。防災講話、煙体験、消火体験、炊き出し等の防災体験を検討している。日程は地域の協力者と相談して決めたい。参加者は西小学校の児童、保護者を対象に約100人と考えている。食糧費は夕食と翌日の朝食分である。

岡崎委員 来年度以降も予算計上するのか。

安心安全課長 平成29年度は国の事業を受けた愛知県の委託事業として予算計上したので、来年度以降の予定はない。地域主体で防災キャンプを実施する際はできる支援はしたい。

岡崎委員 損害保険料の計上がないが、市民活動災害補償制度の保険を利用するのか。

安心安全課長 市民活動災害補償制度を利用する。

岡崎委員 都内でアルファ化米による食中毒が発生したが、防災キャンプにアルファ化米を使うのか。

安心安全課長 東京都福祉保健局に確認したところ原因となったアルファ化米の流通経路は、都内のみで長久手市では流通していない。食中毒を出さない

よう協議を重ね衛生管理に努めたい。

質疑及び意見を終了

討論

反対討論 なし

賛成討論 なし

採決

賛成全員により、原案のとおり可決

**議案第 34 号** 長久手市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について

総務課長 議案第 34 号について説明

さとう委員 死亡や障がいを負った場合の補償額の算出はどのようなか。

専門員 分団長 10 年未満、配偶者及び子ども 3 人を例にすると、補償基礎額 1 万 600 円に第 1 号の配偶者 333 円、第 2 号の子ども 267 円×3 人分の 1,134 円を加算し、1 万 1,734 円となる。傷病補償年金第 3 級の場合は、これに 245 をかけた額になる。

吉田委員 団員に補償条例や改正をどう伝えているか。

総務課長 月 1 回の分団長会議を通じ、各団員に説明や報告をしている。

質疑及び意見を終了

討論

反対討論 なし

賛成討論 なし

採決

賛成全員により、原案のとおり可決

**議案第 32 号 長久手市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する  
条例について**

人事課長 議案第 32 号について説明

上田委員 今日現在、弁護士資格を有する任期付職員の応募者はないが、その理由は何と考えているか。また、今回の再募集でも応募者がいない場合はどうするのか。

行政課長 愛知県弁護士会へ趣旨を説明し、弁護士会内の周知を依頼した。育休後に官公庁の職員として復帰する需要はあると見込んだが、応募者はない。当初の募集期間は、県内の事例を参考に半月としたが、今回は2か月とした。弁護士はいずれかの法律事務所に所属しているので、官公庁職員としては難しいとの話もあるが、弁護士資格を有する職員は必要な人材であり、採用できるよう努力したい。今回も応募がなければ採用できるまでの間は、人事、財政部署と協議し週に何日かでも法律の専門家をお願いする方策を検討したい。

人事課長 弁護士の求人サイト「ひまわり求人求職ナビ」に求人情報を登録し、閲覧できるようにしている。

岡崎委員 募集条件の給与はいくらか。

人事課長 給与は役職により、給料月額 47 万 1,000 円の場合は年額約 790 万円、給与月額 53 万 2,000 円の場合は年額約 880 万円としている。県内自治体の実績を参考に決定し、公務員として採用するには適正な額と考えている。

さとう委員 現在、特定任期付職員は何名か。

人事課長 いない。

さとう委員 県内自治体の採用では年齢制限はあったか。また、採用後の兼業は禁止か。

人事課長 豊田市、春日井市、岡崎市の事例では、いずれも 45 歳として募集し、30 代の者が在籍している。また、採用後の弁護士活動は停止することが条件である。

質疑及び意見を終了

討論

反対討論 なし

賛成討論 なし

採決

賛成全員により、原案のとおり可決

**議案第 33 号** 長久手市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

人事課長 議案第 33 号について説明

さとう委員 子どもが保育園に入れませんが、仕事に復帰している職員はいるか。

人事課長 平成 29 年 4 月に人事院規則が改正されたが、職員からの申出はない。

質疑及び意見を終了

討論

反対討論 なし

賛成討論 なし

採決

賛成全員により、原案のとおり可決

委員長 この際、暫時休憩

午前 11 時 05 分 休憩

午前 11 時 15 分 再開

## 所管事務調査

### 官民連携（PPP、PFI）で公共施設を整備するの方針について

- 1 具体的にどの施設でどのような形態を検討しているか。
- 2 工事着手に至るまでの段取りについて

財政課長 公民連携の効果に低廉かつ良質な公共サービスの提供、新たな官民パートナーシップの形成、経済の活性化を期待することができる。一方デメリットには、公共サービスの質の低下や職員の経験やノウハウを失う可能性があること、事前の手続きに要する業務が増え、時間を要することがあげられる。

本市では平成 28 年度に公共施設等総合管理計画を策定し、スタートラインに立ったところである。基本方針 2 では公民連携の促進を示しているが、目的ではなく手法と考えている。

内閣府アドバイザー派遣制度の活用、先進事例の研究、専門部署の設置、インセンティブ型予算編成、具体的検討をするプラットフォームを設けるなどして本格導入できるのではないかと考えている。

今後、スポーツ施設整備事業、市役所等公共施設整備事業等で PPP、PFI の検討がされていくのではないかと考えている。

山田(け)委員 内閣府のアドバイザー派遣制度の活用実績や成果はどのようなか。また、先進地視察は、どこへ何を研修に行ったのか。

財政課長 平成 29 年 1 月 20 日に内閣府から高 愛陽（こう えやん）氏を派遣してもらい、45 人ほどの職員が参加して研修会を実施し、講演、実例報告のほか、福祉の家再整備事業、スポーツ施設整備について質疑応答、意見交換をした。先進事例研究は、神奈川県秦野市の市役所駐車場の一部に提案型公募でコンビニエンスストアを誘致、千葉県流山市の公共施設の管理委託を一括発注するデザインビルド型包括施設管理業務委託等について視察した。

さとう委員 議会には、体育館、リニモテラス公益施設の整備について PPP の発言があった。体育館の平成 29 年度、30 年度のスケジュールはどのよう



か。

財政課長 現在、総合的にマネジメントする部署がなく、担当部署で検討するため財政部門では詳細の把握はしていない。

さとう委員 大きな金額が動く事業なので、担当部署任せはよくない。専門部署の設置はいつ頃か。

財政課長 今後の検討となるので、時期の明言はできない。

さとう委員 1月20日の研修会の成果はあるか。PPP、PFIは利益が生まれないと難しいが、庁舎建て替えのアイデアは出ているか。

課長補佐 1部は一般的なPPP、PFIの背景、事例紹介、2部は具体的な案件の質疑応答としたが、検討が進んでない段階のため具体的な質疑にはならなかった。この時の質疑を加味し、担当課で検討している段階だと思う。

加藤委員 研修会ではPPP、PFIを庁舎整備にどう活用できるか、建て替えにどのような方法があるのか話題にならなかったか。

課長補佐 市役所がPPP等の対象になるかという点については、市役所という点で業者には魅力があり、実現の可能性はある。市役所管理に携わることを名譽的な利益として手をあげる事業者はあるだろう。PPP等は、機器保守、施設管理に可能性があるということだった。

加藤委員 上層階を住宅にした複合施設としての庁舎整備の事例があるが、そのようなこともできるのか。

課長補佐 豊島区役所のように駅前等恵まれた立地条件であれば検討できると思う。

委員長 総務委員会では官民連携について視察を予定してるので、また視察をふまえ情報交換したい。

## 執行部報告について

### 1 戸籍住民基本台帳整備事業の繰越明許について

市民課長 個人番号カードの発行が国の想定枚数に達しなかったため、国の予算の繰越に伴い、市町村の予算も繰越するものである。平成28年度は、平成27年度の繰越分で賄えたため、平成28年度の追加予算は全て繰越となった。

さとう委員 399万6,000円は何に対し、10分の10の補助をするのか。

市民課長 個人番号カードの作成費が人口割に応じて国から市に措置されるの

で、市はJ-LIS（地方公共団体情報システム機構）に補助する。

## 2 職員人件費/弁護士の配置（主要事業）について

財政課長 4月に募集、5月に面接による採用試験、8月採用の予定だったが、応募者がなかった。6、7月に再募集、8月採用試験、12月採用に変更した。本日現在応募者はないが、採用に向けて努力を続けたい。

さとう委員 日常業務での法律上の対応は何件あったか。また、6月までに行政不服審査の請求はあったか。

行政課長 顧問弁護士への相談は例年同様と思う。平成28年4月の法改正後、行政不服審査の事例はない。

岡崎委員 弁護士資格を持つ職員は、専門的立場として選挙の際の疑問票判読にあたるのか。

行政課長 そう考えている。

岡崎委員 残務等の手当は支給されるのか。

課長補佐 時間外勤務手当はないが、選挙手当が支給される。

さとう委員 日常業務での法律上の対応、行政不服審査の対応、選挙を業務を想定するならばほど忙しいとは思えないが、普段は何をするのか。

行政課長 法制執務研修、条例の制定、改正等議案にかかる素案作成等を委託から採用する職員の担当としたい。また、行政課が所管する公平委員会、情報公開審査会、個人情報保護審査会等も日常業務として担ってもらおう。

委員長 以上で執行部の報告を終了する。

委員長 次に、閉会中の継続調査について継続調査申出事件一覧表のとおり、引き続き閉会中も継続して調査することを提案するがよろしいか。

〈異議なし〉

異議なしのため継続調査とし、継続調査申出事件一覧表を委員長から議長に申し出ること全委員了承

委員長報告は委員長及び副委員長へ一任を確認

委員長 閉会宣言

午前11時59分 終了

以上、要点筆記は会議内容と相違ないので署名する。

平成 29 年 6 月 23 日

総務委員会委員長 さとうゆみ